

工数管理・工程配員情報収集でのRFID活用事例

【目的】工数情報収集の目的確認

- ・各作業時間の把握 =>「工程管理」と連携
 - ・原価情報収集
 - ・就業状況収集 =>「勤怠管理」と連携
 - ・作業毎の生産性確認
 - ・リソース計画用情報収集 =>「工程平坦化」検討
 - ・リアルタイム配員調整 =>「工程進捗情報」と連携
 - ・品質管理情報 =>「工程管理」に担当者情報を追加
- ※一時的な情報収集の場合は、「**トライアルサービス**」を活用。

【認識エリア/ポイント】の検討

- ※どの工程/作業の工数・配員状況を対象とするか。
- ※工程内作業種毎の情報を収集するか。
- ※実作業以外(休憩時等)の情報を収集するか。
- ※ヘルプ作業の情報を収集するか。
- ※工程進捗との連携は、どのように実施するか。

【収集方法】の確認 ※ご要望

- ・エリア内を常時自動(無認識)収集
- ・エリアへの入/出を自動(無認識)収集
- ・エリアへの入/出、着完・中断のタッチ/着脱(意識動作)収集
- ・パソコン画面での選択/入力 (RFID未使用)
- ・「工程管理」の付帯情報として収集 (工程管理で利用している仕組で収集)

【タグ】の選択

- [人が保持]
- ・ヘルメット、帽子、保護メガネ、靴、マスク、装備品
 - ・ウェア(クリーニング対応)
襟、袖(二の腕)、袖口、胸、上着裾、ズボン裾
 - ・名札、社員証、作業カード
 - ・アクティブタグ/ビーコン (パッシブRFID以外)
- [工程/認識ポイントに準備]
- ・作業カード、作業種カード

工数・配員情報利用システム

<ユーザー様システム>

DB/CSV形式

担当情報通知
いつ、どこで、誰が

付帯情報通知

RFID情報収集ツール「ICTagCollector」

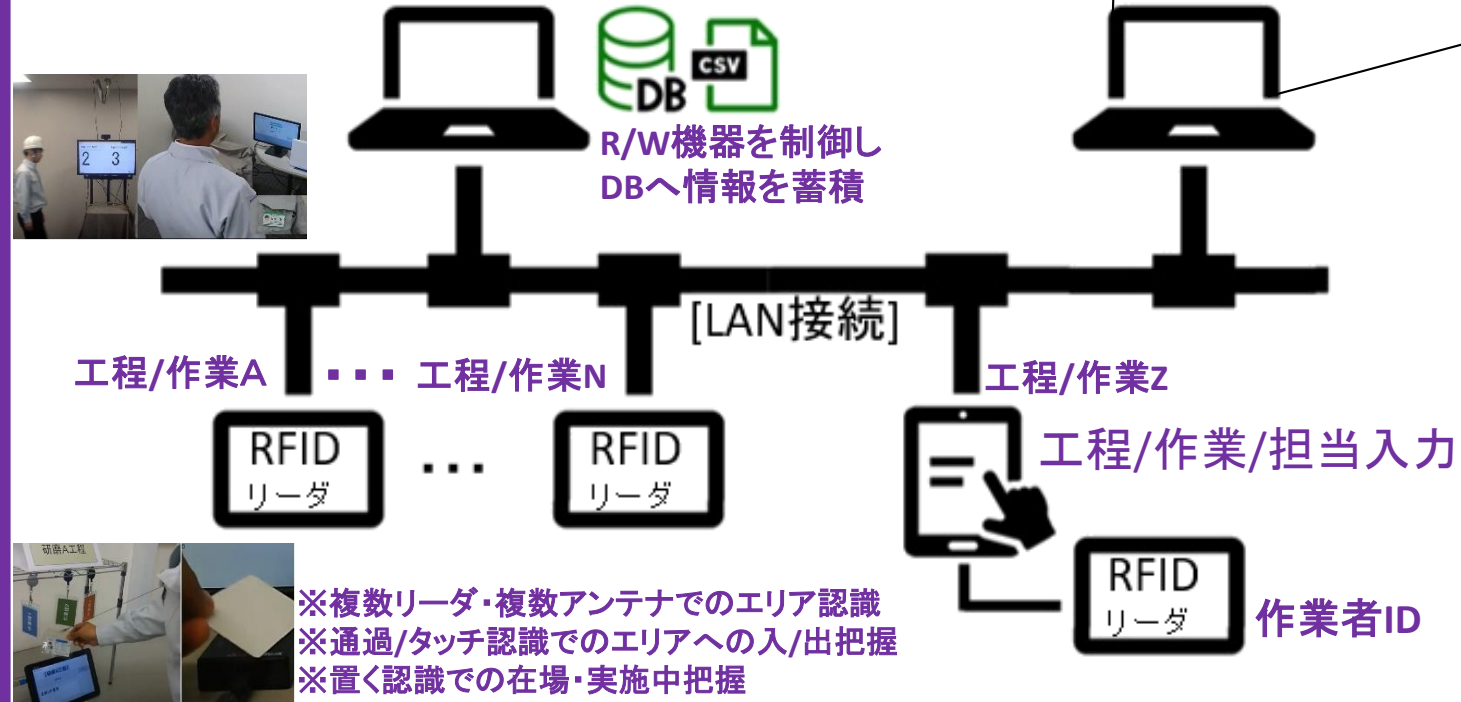
システム検証トライアルサービス

収集情報表示

The screenshot displays a data table with columns for time, location, and employee ID. Below the table, there are two visualizations: '作業者に着目すると' (Focus on worker) and '工程エリアに着目すると' (Focus on process area). The worker view shows employees (山田, 高橋, 佐藤) assigned to different projects (工程A, B, C). The area view shows which employees are present in which project areas.

情報収集アプリケーション用パソコン

情報閲覧用パソコン



【カスタマイズ】

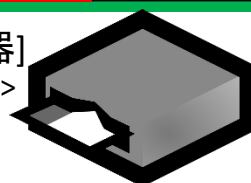
- ※ユーザー様毎に異なる要件への対応はカスタマイズ致します。
- ・付帯情報入力への対応。
- ・作業者に応じた情報の表示。
- ・収集情報の表示機能の追加。

【R/W機種・構成】選定・登録

- ・収集方法・運用想定(用途適用)に合致した機器をポイントに設置。(RFID活用オンサイトサービスでの確認)
- ・機器/アンテナに、認識ポイントの工程/作業番号・エリアを割り当てる。

【タグ】発行・登録

[タグ発行機器]
<RFIDプリンタ>
ラベル
カード



<小型卓上R/W
UC-100f>



<BC+RFID一体
Ubar-200f>



【運用方法・認識要件・環境】検討

- ・必要に応じU/I機能を追加。(認識状況表示)
- ・必要に応じ電波遮蔽対応。(シールド/吸収)
- ・認識情報欠落時の対応方法。